特許協力条約に基づく国際出願願書 原本(出願用) - 印刷日時 2003年10月14日 (14.10.2003) 火曜日 14時46分13秒

VIII-4-1	発明者である旨の申立て(米国	
,	を指定国とする場合)	
1	発明者である旨の申立て(米国	私は、特許請求の範囲に記載され、かつ特許が求め
	を指定国とする場合) (規則4	られている対象に関して、自らが最初、最先かつ唯一
1	. 17(iv)及び51の2. 1(a)(iv))	の発明者である(発明者が1名しか記載されていない
		場合)か、あるいは共同発明者である(複数の発明者
		が記載されている場合)と信じていることを、ここに
1		申し立てる。
		本申立ては、本書がその一部をなす国際出願を対象
	·	としたものである(出願時に申立てを提出する場合)
1		私は、特許請求の範囲を含め、上記国際出願を検討
		し、かつ内容を理解していることを、ここに表明する
		o シは、POT相別人10の担合に発い、トジリ際の原律に
		私は、PCT規則4.10の規定に従い、上記出願の願書に
		おいて主張する優先権を特定し、かつ、「先の出願」 という見出しの下に、出願番号、国名又は世界貿易機
		関の加盟国名、出願日、出願月、出願年を記載するこ
		とで、米国以外の少なくとも一国を指定しているPCT
		国際出願を含め、優先権を主張する本出願の出願日よ
		りも前の出願日を有する、米国以外の国で出願された
		特許又は発明証の出願をすべて特定している。
VIII-4-1 -1	先の出願:	特願2002-310520, JP, 2002年10月25日
-1	•	(25. 10. 2002)
		私は、連邦規則法典第37編規則1.56 (37C.F.R. § 1
		.56) に定義された特許性に関し重要であると知った
		情報について開示義務があることを、ここに承認する
		。さらに、一部継続出願である場合、先の出願の日か
		ら一部継続出願のPCT国際出願日までの間に入手可能
		になった重要な情報について開示義務があることを承 認する。
		私は、表明された私自身の知識に基づく陳述が真実
		であり、かつ情報と信念に関する陳述が真実であると
		信じることをここに申し立てる。さらに、故意に虚偽
		の陳述などを行った場合は、米国法典第18編第1001条
		に基づき、罰金、拘禁、又はその両方により処罰され
		、またそのような故意による虚偽の陳述は、本出願又
		はそれに対して与えられるいかなる特許についても、
		その有効性を危うくすることを理解した上で陳述が行
		われたことを、ここに申し立てる。
VIII-4-1 -1-1	氏名:	山岸 幹也
VIII-4-1 -1-2	住所:	安城市,日本国
	(都市名、米国の州名(該当する場合)又は国名)	
VIII-4-1	郵便のあて名:	尾崎町丸田1番地7 中央精機株式会社内
-1-3 VIII-4-1	国籍:	JP
-1-4 VIII-4-1		or
-1-5	│発明者の署名:│ (国際出願の願書に発明者の署	
	名がない場合や、規則26の3に	
	基づいて国際出願の出願後に申	l bt.
	立ての補充や追加がなされた場合。	山岸草也
	署名は代理人ではなく、発明者	W1/141-
	のものでなければならない。)	· ·
	I	1

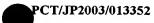
VIII-4-1 -1-6 日付: (国際出願の願書に発明者の署 名がない場合や、規則26の3に 基づいて国際出願の出願後に申 立ての補充や追加がなされた場 合。)

16, 10, 2003



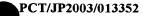
特許協力条約に基づく国際出願願書 原本(出願用) - 印刷日時 2003年10月14日 (14.10.2003) 火曜日 14時46分13秒

VIII-1-1	発明者の特定に関する申立て 発明者の特定に関する申立て (規則4.17(i)及び 51の2.1(a)(i))	本国際出願に関し、
	あて名: 氏名:	446-0004 日本国 愛知県 安城市 尾崎町丸田 1 番地 7 中央精機株式会社内 在住の 山岸 幹也 は、本国際出願によって保護を求められている対象の 発明者である。
	本申立ては、次の指定国のため になされたものである。:	すべての指定国



特許協力条約に基づく国際出願願書 原本(出願用) - 印刷日時 2003年10月14日 (14.10.2003) 火曜日 14時46分13秒

VIII-2-1	出願し及び特許を与えられる国	
	際出願日における出願人の資格	
	に関する申立て	
	出願し及び特許を与えられる国	本国際出願に関し、
	際出願日における出願人の資格	本国际山原に関し、
	に関する申立て(本申立てが規	
	則4.17(iv)に規定する申立てに	
	則4.17(17) に双足りる中立しに	
	該当しない場合) (規則4.17(
	ii)及び51の2.1(a)(ii))	
		以下の事実により、
		中央精機株式会社は、
		下入門以外以本にい。
		出願し及び特許を与えられる資格を有している。
VIII-2-1		中央精機株式会社は、発明者たる
(ii)		山岸 幹也の雇用者としての資格を有している。
VIII-2-1		山井・村内の海内省としての負債を行っている。
V111-2-1	本申立ては、次の指定国のため	すべての指定国
(ix)	になされたものである。:	



特許協力条約に基づく国際出願願書 原本 (出願用) - 印刷日時 2003年10月14日 (14.10.2003) 火曜日 14時46分13秒

VIII-3-1	先の出願の優先権を主張する国際出願日における出願人の資格に関する申立て 出願人が優先権主張の基礎とされた先の出願の出願人と同一ない場合、又は先の出願の出願の出願 目以後に出願人の氏名又は名称	本国際出願に関し、
	が変更された場合において、以 下の先の出願に基づく優先権を 主張する国際出願日における出 願人の資格に関する申立て(規 則4.17(iii)及び51の2.1(a)(i ii))	以下の事実により、
		中央精機株式会社は 先の出願特願2002-310520に基づく優先権を主張する
VIII-3-1		資格を有している。
		中央精機株式会社は、発明者たる
(ii)		山岸 幹也の雇用者としての資格を有している。
VIII-3-1	本申立ては、次の指定国のため	すべての指定国
(ix)	になされたものである。:	1